どんぐりの森通信　第33号　2020年・春

平岡どんぐりの森は、地域の身近な自然に親しむ活動をしているグループです。
2002 年に清田区・厚別区の住民を中心に活動を始め、平岡公園や東部緑地をフィールドに自然観察会や地域の生きもの調査・保護活動などを続けています。
大人も子供も一緒に自然の中で楽しく遊びながら、身近な自然を大切に見守る目を増やしていきたいと願って活動しています。

今年も春が巡ってきました。暖冬・記録的な少雪と、過ごしやすい冬だったと思う間もなく、早い春と共に新型コロナ・ウィルスという脅威が到来して、思いがけない新年度の幕開けとなりました。小中学校の休校や自宅待機の要請で、私たちの日常生活はもちろん、『平岡どんぐりの森』の活動にも大きな影響が及んでいます。まだまだ先が見通せない状況ではありますが、一日も早く平常な暮らしが戻ってくることを願いながら、この 1 年間の活動を振り返り、新年度の活動予定をお知らせします。なお、新型コロナ・ウィルス感染防止のため、今後の活動予定には急な中止や変更の可能性がありますので、『平岡どんぐりの森』や平岡公園のホームページ等でご確認の上ご参加ください。

＊＊＊＊＊ 平岡どんぐりの森の活動 ＊＊＊＊＊

◎ながぐつの土曜日　毎月第 3 土曜日 10:00 平岡公園第 1 駐車場集合　参加費 100 円

平岡公園管理事務所と共催の「ながぐつの土曜日」は、小学生の親子を中心にした自然観察会です。
4 月～10月の第 3 土曜日午前 10 時からお昼まで、北海道自然観察協議会指導員『ゆうさん』を先頭に平岡公園を隅々まで探検しています。森では樹木や草花、草地では虫、湿地・池ではカエルや魚、空を飛ぶ鳥も見逃しません。何でも見つけてみよう、触ってみよう、調べてみようと歩いています。夏には川に入って、魚やトンボのヤゴも探しますよ！

◆　2019 年の活動日誌から　◆

2019 年4月20日（土）ながぐつの土曜日　春の平岡公園たんけんたい

毎年4月の平岡公園には、雪解けを待ちわびた大勢の子ども達の元気な声が響きます。すっかり雪の消えた木道を、足音も軽く進みました。湿地では*ミズバショウ*が早くも白い花（苞）と緑の葉を大きく伸ばして、*ザゼンソウ*もあちこちに顔を出しています。探検隊長の『ゆうさん』の周りには、カエルの卵や虫を一番に見つけようと目を輝かせる小学生たちが集まります。お父さんお母さんと手をつないだ小さい子たちはマイペースで、途中で見つけたアリやダンゴ虫に夢中になって前に進まない子もいました。

今日の皆のお目当ては、やっぱりカエルの卵！広場に用意したバケツの中には、ぷりぷりのゼリー状の卵がたくさん入っていて、そっと触ることもできますよ！3月中旬から産卵が始まった*エゾアカガエル*の卵です。特別参加のカエル博士・高井さんから、*エゾアカガエル*の生態について興味深い話も聞けました。5月には元気なオタマジャクシがたくさん泳いでいるのを、また見に来てね。上流湿地では*エゾサンショウウオ*のソーセージみたいな卵も発見しました。

◎平岡公園ツリーウオッチング　5 月～10 月の第 3 水曜日　第1駐車場集合 10:00

月に１回平岡公園内を歩く、樹木を中心にした自然観察会です。
春の芽吹きと開花、新緑、紅葉と秋の実り、落ち葉の積もる散策路…四季折々の森の表情を楽しみながら、樹木や植物についての知識を深めます。
あなたは平岡公園の樹木を何種類知っていますか？お気に入りの木を見つけてみませんか？

2019年6月19日（水）　さわやかな新緑の森を歩く

ホオノキ

公園入口の梅の香橋からは、いつもは見上げる高さにある樹木の花や実を、すぐそばで観察することができます。今日は*コクワ*の花が満開、小さな赤ちゃんドングリを付けた*ミズナラ*に絡まって、高い所までツルを伸ばしています。*シナノキ*と*オオバボダイジュ*も蕾をふくらませていました。華やかに大きな花を咲かせるのは*ホオノキ*。今年は例年より10日も早く開花しました。目立たない花を枝かげに咲かせている*ナツハゼ*も見逃せません。林床に咲く*ウメガサソウ*、*トケンラン*、*ミヤマナルコユリ*などを見ながら散策路を歩いて行くと、春早くに花を咲かせた*ミヤマザクラ*や*アオダモ*にはタネや実が成り始めていました。湿地では*サギスゲ*の白い穂が風にそよぎ、水面には*ヒツジグサ*が小さな花を開いて、*イトトンボ*や*ヨツボシトンボ*が飛んでいました。珍しい*クロバナロウゲ*の花が増えてきたのが目に付きます。

クロバナロウゲ

◎モニタリングサイト 1000里地調査　2019年度調査報告

自然環境の変化を観察・記録する環境省のプロジェクト「モニタリングサイト 1000 里地調査」の一環として、『平岡どんぐりの森』はカエル類（平岡公園）と鳥類（東部緑地）の調査に参加しています。

●エゾアカガエル　調査日 ' 19 年 3/22　4/6　4/20　（平岡公園）

エゾアカガエルは年 1 回の産卵期に、産卵可能なサイズの全てのメスが 1 匹あたり 1 つの卵塊を産卵します。卵塊の数を数えることで、その地域に生息するカエルの個体数を把握できます。
年々雪解けが早まり、2019年は調査を始めてから一番早い産卵を確認しました。3月中旬頃より産卵が始まり、全体的に卵塊数は減少傾向です。

★調査結果（卵塊数）　梅の香橋エリア: 45　上流湿地:2　はらっぱエリア:23　人工湿地:8
トドマツ横の小池:1　　総数 79

◎鳥類（繁殖期）　調査日 ' 19 年 6/12　6/26　7/10（東部緑地）

東部緑地の大曲川沿いの遊歩道約1kmを歩き、半径 50m以内で確認された鳥類の種名・個体数を記録します。
初夏には親鳥と一緒に幼鳥の姿を見ることができます。6/26 と 7/10 の調査では*シジュウカラ*、*ハシブトガラ*、*ヤマガラ*、*キビタキ*、*アオジ*、*センダイムシクイ*や*アカゲラ*の幼鳥を確認。調査で初めて*ヤマゲラ*の成鳥を確認しました。また、調査地で*エゾシカ*1頭を目撃しました。

◎鳥類（越冬期）　調査日 ' 20 年 1/23　2/6　2/22　（東部緑地）

記録的に雪が少なく 1/23 は長靴で調査開始、爽やかに晴れ上がり、風も無く調査日和。調査地区の最後で、数本の*トドマツ*にカラ類に交じり*シマエナガ*の群れ、*キクイタダキ*（野鳥の中で１番小さい鳥）5 羽、珍しい*キバシリ*などを確認しました。2/22 は前日に降雪があり、スノーシューを履いて調査。野鳥は少なめでしたがカラ類の他に*シマエナガ*、*ヒヨドリ*、*コゲラ*、*アカゲラ*などを確認しました。前回の調査の時には全く野生動物の足跡が無く心配しましたが、3 回目の調査では*エゾユウサギ*や*キタキツネ*、*エゾリス*の足跡がたくさん見られ安心しました。